



CENTER FOR GLOBAL INNOVATION STUDIES
グローバル・イノベーション学研究センター

Established January 2016. Toyo University
2016年1月設立、東洋大学

CENTER FOR GLOBAL INNOVATION STUDIES MISSION STATEMENT

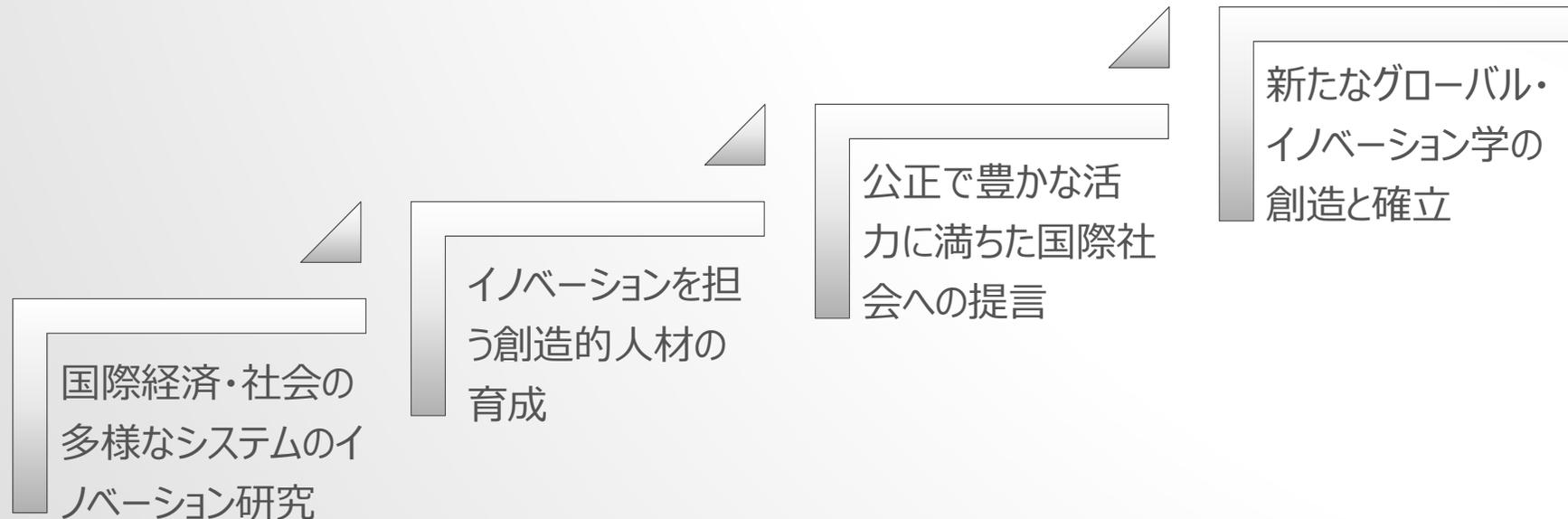
Committed to the promotion of
innovative research on innovation,
innovative education for innovators

Toward a Creative Center for Global Innovation Studies グローバル・イノベーション研究の創造的拠点を目指して

- Creating and establishing a new academic system of Global Innovation Studies through innovation research of diverse systems of the international economy and society, development of creative human resources who contribute for global innovation, and making proposals to the international community for full of vitality and fairness .
- 国際経済・社会の多様なシステムのイノベーション研究と、イノベーションを担う創造的人材の育成、公正で豊かな活力に満ちた国際社会への提言を通じて、新たなグローバル・イノベーション学という学問体系を創造・確立する。

グローバル・イノベーション学研究センター (GIC)の研究体制

- 国際経済・社会の多様なシステムのイノベーション研究
- イノベーションを担う創造的人材の育成
- 公正で豊かな活力に満ちた国際社会への提言



戦略的基幹プロジェクト 世界イノベーション・ランキングの作成

- どの国がイノベーションが進んでいるかを明らかにする
 - 定義づけ作業
 - イノベーションとはなにか
 - クリエイティビティとはなにか
 - イノベーションの計測、クリエイティビティの計測・理論と手法
 - ランキングインデックスの構成要素とウェイトには十分な吟味を行う
 - 国・制度、企業風土、マインドセット、エコシステム
 - トップ大学を出た人の起業比率
 - 企業の新規生成力
 - クリアティブな教育の指標 など
 - ランキングインデックス開発のコミッティーを組織
 - 制度設計のためのコミッティー
 - 外部シンクタンクに参加を促し、その情報資源・ノウハウを活用する
 - 海外提携大学・研究機関の参加
 - ストラスブール大学（イノベーションの経済学研究・進化経済学）
 - モントリオールHEC(クリエイティビティの経済学、クリエイティビティのマネジメント)
 - リールカトリック大学（実験経済学／行動経済学によるクリエイティビティの研究）
 - シリコンバレー、シンガポール等への展開

ベンチャーエコシステム醸成のための課題

歴史や風土が作った環境

(短期間では変わらないが変化への努力は継続して必要)

- 人口構成
 - 日本: 単一民族かつ急速な高齢化
 - 米国: グローバルな移民国家
- 精神風土
 - 日本: 「出る杭は打たれる」「失敗は個人を社会的に厳しい状況へ」
 - 米国: 「成功者は名誉もお金も」「挑戦における失敗には寛容」

人為的に変化を促せる環境

(教育や研修など人材養成へのコンセンサス)

- 大学・大学院・専門大学院(ビジネススクール)など、企業関係教育の充実
- 法律事務所、会計事務所、コンサルタントなど、プロフェッショナルの充実
- 投資判断のみならず、ハンズオンまで出来るベンチャーキャピタリストの醸成
- 産学連携の推進

社会システムとしての金融・財政・税制

(政策課題の官産学共有)

- 大学・年金等のベンチャー資金供給のための規制緩和
- 税制によるエンジェル育成制度の拡充
- スtockオプション、種類株式等のツール整備
- 年金のポータブル化の充実

石井正純氏「ベンチャーエコシステム活性化のためにはシリコンバレーからの視点」より

イノベーション・ランキングを源泉として生成する 研究センターのプロジェクト・ネットワークの展開

イノベーション・
ランキング作成

海外運営拠点の展開
国内外企業・研究機関との
共同ネットワーク形成

ランキング作成とアンケート過程で課題発掘
して、主要研究プロジェクトへ展開、外部と
連携した成果の蓄積と公表

アジアなど海外研究者との連携し、民間の外部資金やグロー
バル企業人材等のセンターへの取り込み、大手町キャンパス
などを通じたセミナーなど幅広い研究成果のフィードバック

グローバル・イノベーション学研究センター（GIC）のプロジェクト進行

グローバル・イノベーションのエコシステム

- イノベーション・エコシステムの国際比較研究
- 世界イノベーション・ランキングインデックスの開発公表
- Measurement of Innovation, Measurement of Creativityの国際共同研究

クリエイティビティとイノベーション人材

- イノベーション社会における創造性マネジメント教育研究とイノベーション人材の国際比較
- 世界のイノベーター研究講座開催と起業支援・インキュベーション
- 研究機関・企業・国際組織等との連携による留学生・日本人学生の高度キャリア形成（GINOS、GINOS大学院との連携）

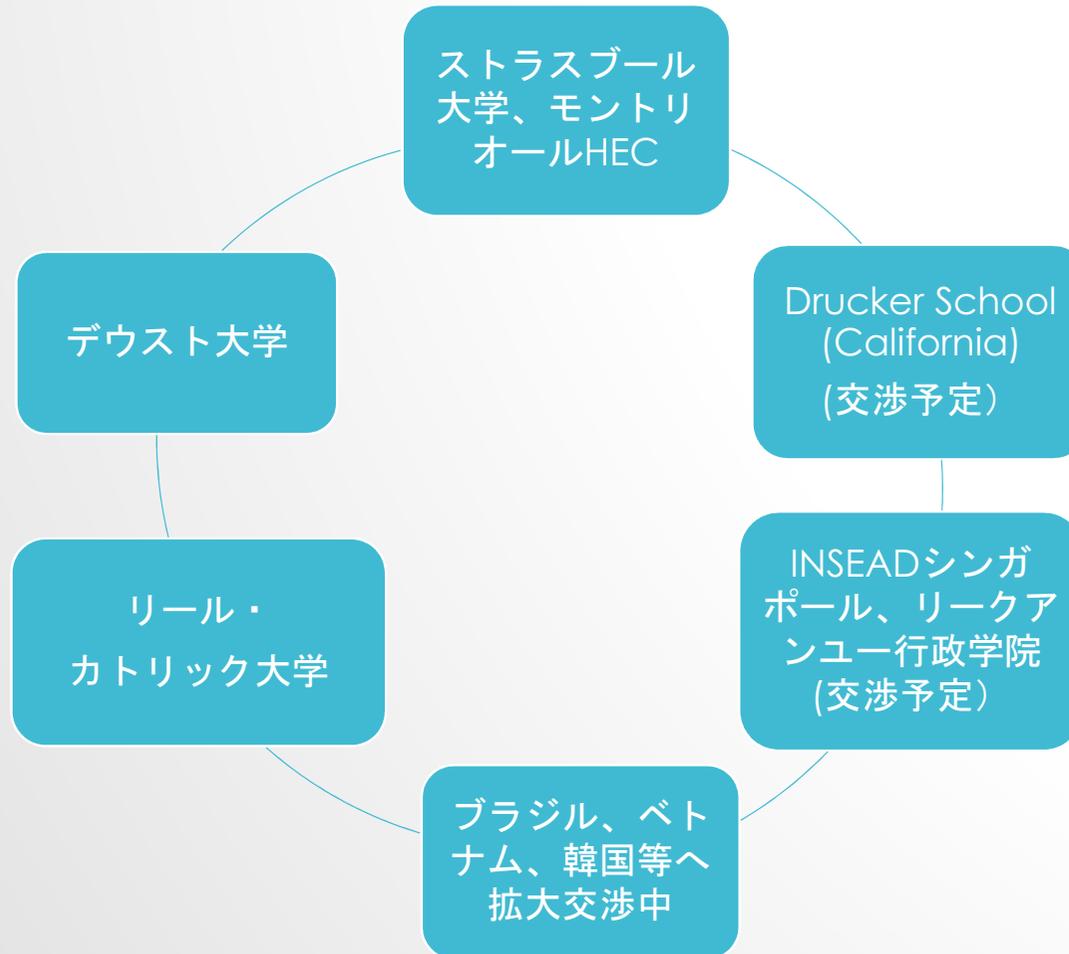
国際社会・企業へ向けた提言・貢献

- 新興国市場への支援と開拓、Frugal Innovationの研究とグローバル企業戦略への貢献
- 国連SDG計画のアジアを中心とした実践（PPPスクールとの連携）
- European Union-Asia Pacific dialogue の研究(ERASMUS+ Jean Monnet Program 応募中)

グローバル・イノベーション学の構築

グローバル・イノベーションの世界センターとしての地位確立

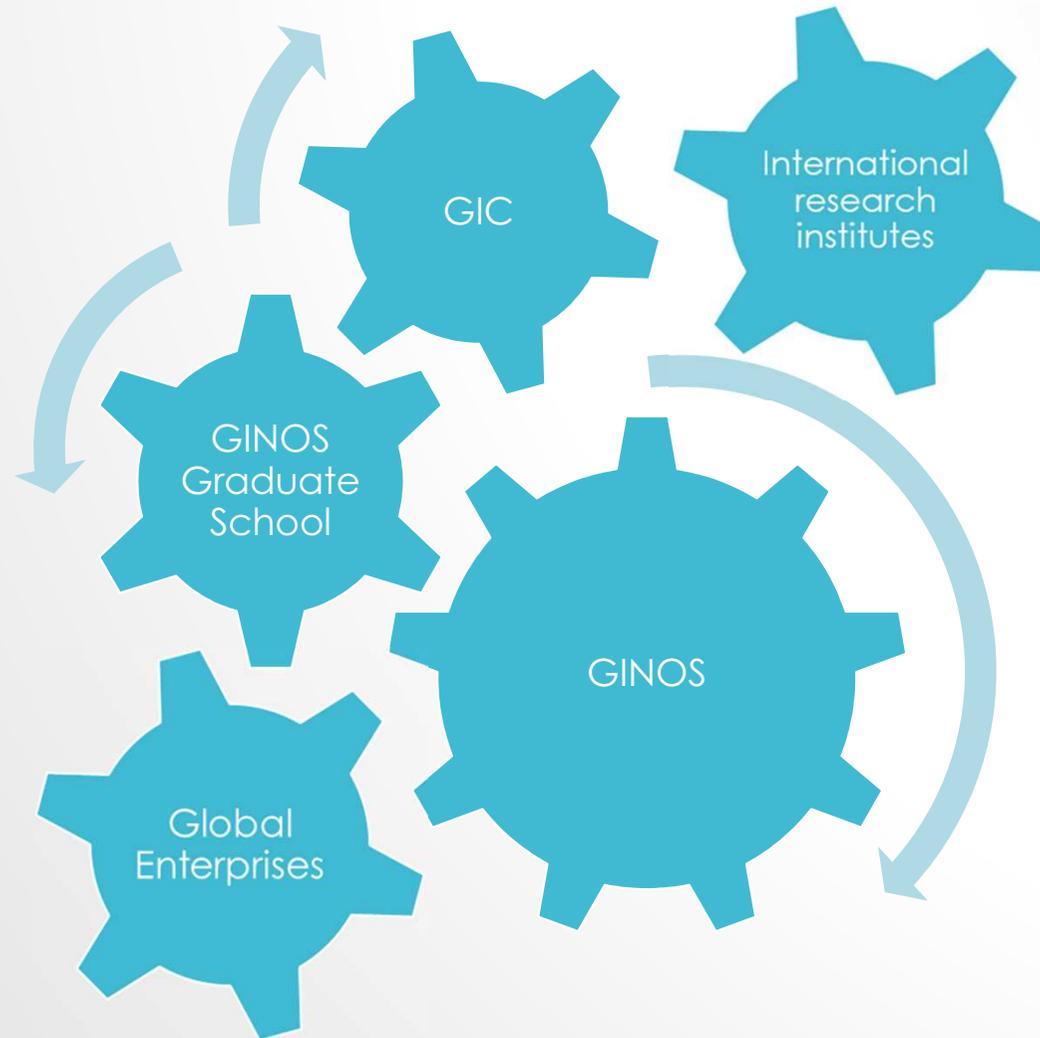
海外に展開するグローバル・イノベーション学研究ネットワーク



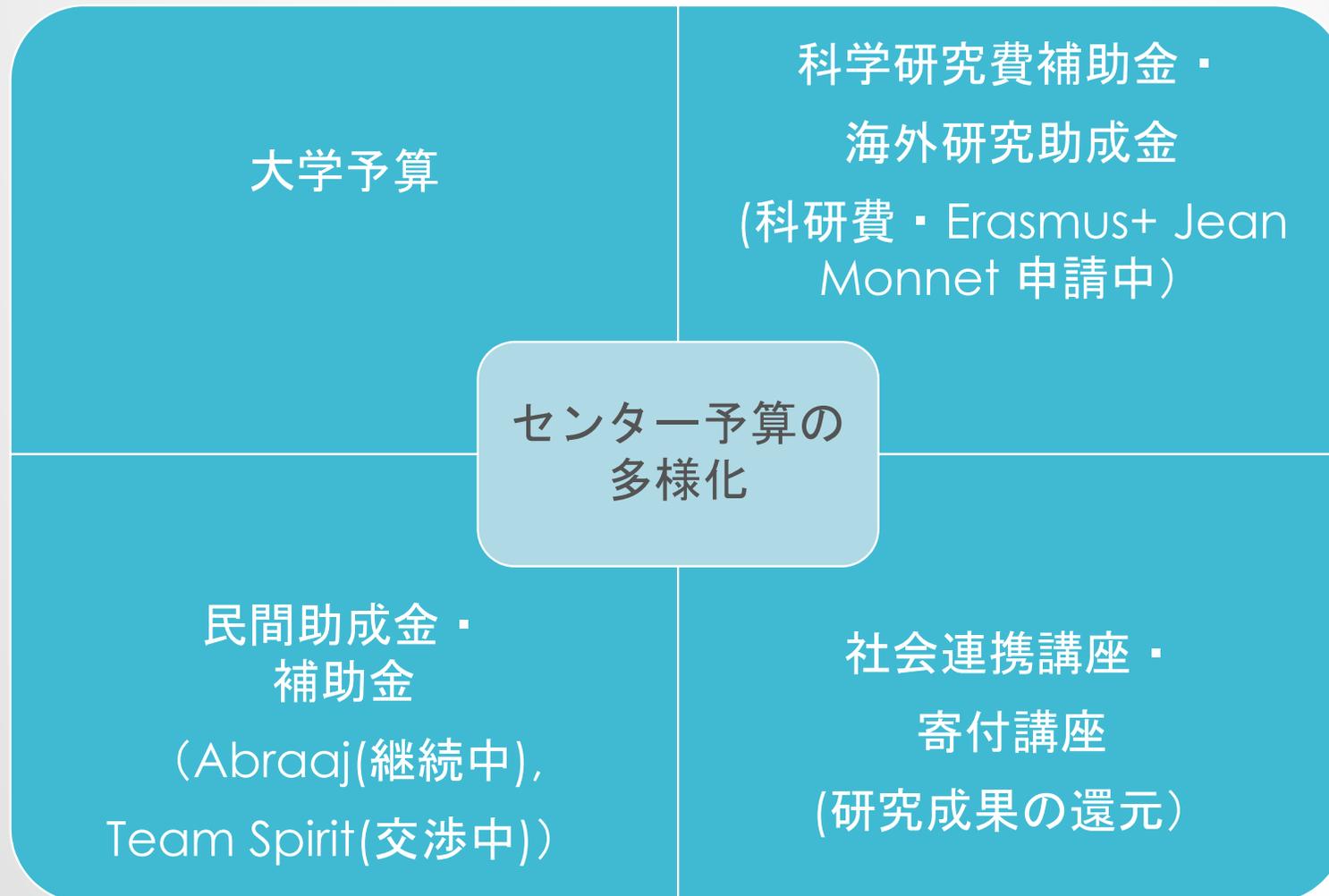


アジアにおけるグローバル・イノベーション学の中心的研究センターとして
若手の優秀な研究者（5人程度）と共同プロジェクト・ネットワーク構築

GIC・GINOSを中心としたオープン・イノベーションのエコシステム GLOBAL OPEN INNOVATION ECOSYSTEM (GOIE)



センター予算の多様化による基盤強化



(1) 事業計画の趣旨・目的

- 本センターの設立趣旨は、国際経済・社会の多様なシステムのイノベーション研究と、イノベーションを担う創造的人材の育成、公正で豊かな活力に満ちた国際社会への提言を通じて、新たなグローバル・イノベーション学を創造・確立することにある。その活動の成果を通じて、グローバル・イノベーション研究の創造的拠点のシンクタンクとして国内外に確固たる地位を獲得し、東洋大学におけるSGUの先駆的推進役を果たすことを目的としている。
- そのためのミッションステートメントは“Committed to the promotion of innovative research on innovation, innovative education for innovators”である。すなわち、世界中でイノベーションをもたらしているインフラストラクチャ、生産技術、組織ガバナンス・人材育成・金融システム、コミュニケーションなど、さまざまなシステムの解明を、国際的に有力な大学や研究組織との連携によりグローバル・イノベーション学の最先端の研究体制を完成することが本センターの重要な課題である。

(2) 達成目標

- 国際経済・社会の多様なシステムのイノベーション研究を、海外の有力な大学および研究組織との連携ネットワーク構築を通じて行う。その目標達成のため「世界イノベーションランキング」を作成・公表し、新たなグローバル・イノベーション学の創造拠点としての地位の確立を目指す。その裏付けとして中心となる研究テーマは2つ、①グローバル・イノベーションへの日本の貢献－新興国市場開拓およびリバース・イノベーションの研究、②イノベーションのエコシステムと創造的イノベーション人材育成－国際比較研究と実践的教育プログラムである。
- ロバート・ゼーリック氏招聘シンポジウムの成功を受け、彼が日本に託した「日本経済の柔軟さとレジリアンス」、「若者たちのコンピューター技術進化への対応力」というメッセージを平成30年度の活動で展開する。具体的には、AIやIoTなどの中でも生き残っていける人材像を、働き方改革・人づくり革命の政策展開と連携して提案し、オープンに企業・研究機関の参加を呼びかける。

(3) 事業計画の具体的内容・実施体制等

- 定期的な研究会の開催、アジアなどの優秀な研究者とのネットワーク構築、それら成果公表の公開セミナー、契約制の研究助手の採用、社会・企業向けイノベーション人材・アントレプレナーシップ育成プログラム、新興国投資講座など、研究の成果を積極的に対外公開し、また社会・企業からもセンターの活動への積極的参加を促す、新たな研究エコシステムGOIE（ジョア：Global Open Innovation Ecosystem）を構築する。そのために企業に対しイノベーションへの認識・活動に関するアンケート調査を行う。
- さらにGINOSおよび構想中のGINOS大学院（国際学研究科）はじめ、内外の有力な国際的大学・研究組織との連携によりグローバル・イノベーション学の研究教育体制を確立する。SDGsをキーワードに、東洋大学PPPスクールと連携をし、国連PPP推進局を通じて多くのSDGs推進国連組織との連携も推進する。またINIADとの連携も視野に入れて最先端の研究拠点を目指す
- その一環のチャレンジとして、世界経済フォーラム（WEF） Center for The Fourth Industrial Revolution との連携を直接打診し可能性を探る。平成31年度の国際シンポジウム開催に向け、本年度は十分な研究蓄積を行って万全の準備態勢を整える。

(4) 取組に対する評価体制、公表方法

- 現在の外部評価委員体制をさらに強化・充実、また評価委員にも研究センターのガバナンスに積極的なコミットメントをして頂くように体制を整備し、名実ともにセンターの評価を客観的に高いものとする。
- とりわけ、フラットで参加的な研究所のガバナンス構造、創造的な研究のエコシステムを確立し、GINOS大学院との連携、優秀な留学生の受入などを通して、柔軟かつ多様な組織体制の実現をめざす。Board of Visitors等の手法を活用し、センターに関わる多くのプレイヤーの連携を共通目標の設定とシェアにより強化する新たなガバナンス手法そのものを開発・導入する。
- さらには、外部資金の取り込みにも積極的に取り組み、世界のイノベーターシリーズはじめ多くの研究会、後援会の実現、また外部からの研究委託などの可能性、インキュベーションファンドなどを目指して、なにより評価指標・手法の透明性を実現する。

WORLD ECONOMIC FORUM CENTER FOR THE FOURTH INDUSTRIAL REVOLUTION との連携をめざしプロジェクト提案

- Reverse (Frugal) Innovation
 - Emerging market で受け入れられるイノベーション
- Ecosystemの国際比較
 - シリコンバレーのミドルグラウンド、モントリオールのパイプライン
- Management of Creativity 人材育成
 - Schools in management of creativity のネットワークによる研究と展開
- Emerging Marketにおけるプロジェクトファイナンス
 - Abraajとの連携によるセミナーの展開

WORLD ECONOMIC FORUM

CENTER FOR THE FOURTH INDUSTRIAL REVOLUTION

- The Center for the Fourth Industrial Revolution is a hub for global, multi-stakeholder cooperation to develop policy frameworks and advance collaborations that accelerate the benefits of science and technology.
- Participation in the Center's projects is reserved for governments, companies, start-ups, academic institutions, civil society, international organizations, and experts with the scale and ambition to shape the trajectory of the Fourth Industrial Revolution.
- Our team of future-forward minds collaborate closely with a wide variety of partners to ensure our projects drive maximum impact.

AGENDA 1

- 創造的研究のためのエコシステムの整備
 - 多様な外部資金の取り込み
- 定期的な社会・企業向け講習会等による連携の強化
- インキュベーション・センター、インキュベーション・ファンド
- グローバル・オープン・イノベーション・エコシステムの構築
- GINOS・GINOS大学院との連携を見据えた寄付講座・社会連携講座
- 優秀な留学生が参加しプレゼンのできるプロジェクトを用意
- フラットで参加的な研究所のガバナンス構造の確立

AGENDA 2

- 学内外の人材・組織の混在するGIC独自の研究会の定期的開催
- 契約制の嘱託研究員の採用と活用
- アジアを中心とした優秀な若手研究員 5 人の募集
 - 併せて日本人若手の研究パートナーも募集し国際的なネットワーク支援
- 外部評価委員体制の検討
 - Board of Visitorsの設置
- 2019年度シンポジウム開催の準備（候補の人選）
 - フルーガル・イノベーション、新興国市場支援と開拓
 - エコシステムの国際比較（シリコンバレー、モントリオール、シンガポール、ヨーロッパ、ブラジル）
- INIADとの連携（シンポジウム開催も含めて）